

# 10月は「年次有給休暇 取得促進期間」です。

各企業において、来年度の業務計画等の作成に当たり、従業員の年次有給休暇の取得を十分に考慮するとともに、年次有給休暇の計画的付与制度の導入を検討しましょう。



労働基準法が改正され、平成31年4月より、使用者は、10日以上<sup>注</sup>の年次有給休暇が付与される全ての労働者に対し、毎年5日<sup>注</sup>、時季を指定して有給休暇を与える必要があります。

詳細については、厚生労働省のホームページ「働き方改革の実現に向けて」

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000148322.html>)をご覧ください。

<sup>注</sup> 計画的付与制度をはじめ、労働者が取得した年次有給休暇の日数分は時季指定の必要がなくなります。

## 【キッズウィーク】

地域ごとに夏休みなどの一部を他の日に移して学校休業日を分散化する取組(キッズウィーク)が平成30年度から始まっています。子供たちの親を含め、働く方々は年次有給休暇を取得しましょう!





# 労使一体となって計画的に 年次有給休暇を取得しよう



働き方・休み方を変える第一歩として、「プラスワン休暇」を実施しませんか？



土日・祝日に年次有給休暇を  
組み合わせて、連休を実現する  
「プラスワン休暇」。

労使協調のもと、年次有給休暇を  
組み合わせて、3日(2日)+1日以上の  
休暇を実施しましょう。

2018年9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

Annotations: 敬老の日 (17), 秋分の日 (23/30), 振替休日 (24), プラスワン休暇 (21), +1 (21)

## 年次有給休暇の「計画的付与制度」を活用しませんか？

年次有給休暇の付与日数のうち、5日を除いた残りの日数については、労使協定を結べば、計画的に休暇取得日を割り振ることができる制度です。この制度を導入している企業は、導入していない企業よりも年次有給休暇の平均取得率が8.5ポイント高くなっています(平成28年)\*。この制度を導入することによって年次有給休暇が取りやすくなると考えられます。\*就労条件総合調査

### 1) 導入のメリット

事業主

労務管理がしやすく計画的な  
業務運営ができます。

従業員

ためらいを感じずに、  
年次有給休暇を取得できます。

### 2) 導入例

例えば、2018年の10月に導入すると？

年次有給休暇を土日、祝日と  
組み合わせて、連続休暇に。

土日、祝日に計画的付与の年次有給休暇を組み合わせて連続休暇に  
することができます。また、  点囲みのような日に年次有給休暇をさらに組  
み合わせることで、大型連休にすることも可能です。

2018年10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

Annotations: 計画的年休 (5), 体育の日 (8), プラスワン休暇 (9), +1 (9)

### 3) 日数 付与日数から5日を除いた残りの日数を計画的付与の対象にできます。

例1 年次有給休暇の付与日数が10日の従業員

5日	5日
事業主が計画的に付与できる	従業員が自由に取得できる

例2 年次有給休暇の付与日数が20日の従業員

15日	5日
事業主が計画的に付与できる	従業員が自由に取得できる

◎前年度取得されずに次年度に繰り越された日数がある場合には、繰り越し分を含めた付与日数から5日を引いた日数を計画的付与の対象とすることができます。

### 4) 活用方法 企業、事業場の実態に合わせたさまざまな付与の方法があります。

方式	年次有給休暇の付与の方法	適した事業場、活用事例
一斉付与方式	全従業員に対して同一の日に付与	製造部門など、操業を止めて全従業員を休ませることのできる事業場などで活用
交替制付与方式	班・グループ別に交替で付与	流通・サービス業など、定休日を増やすことが難しい企業、事業場などで活用



# 事業主の皆様

## 人材確保・定着、働き方改革に「Nぴか」

をご活用ください！

### 長崎県誰もが働きやすい職場づくり実践企業認証制度 (愛称:ながさきキラキラ企業)略称「Nぴか」



年齢・性別に関係なく、誰もが働きやすい環境づくりに積極的に取り組む県内企業を、県が優良企業として認証する制度です。

「仕事と育児・家庭の両立」、「働き方改革」、「女性の活躍推進・男女共同参画」の3分野50項目の得点が50%以上で、得点に応じて「一つ星」から「五つ星」を取得する5段階の認証制度となっています。

認証されると、

- 1 「Nぴか」特設ページやながさき県内就職応援サイト「Nなび」で優良企業として周知
- 2 合同企業面談会での表示や専用のロゴマークの利用が可能
- 3 県の建設工事の入札参加者格付審査項目で加点
- 4 日本政策金融公庫「働き方改革推進支援資金」において特別利率での融資
- 5 県主催の合同企業面談会や説明会への出展に有利に などのメリットがあります。

#### ◎認証までの流れ

申請から認証まで2ヶ月程度の期間を要します

- 「長崎県誰もが働きやすい職場づくり実践企業認証制度審査表」をチェック  
※まずは、審査票(様式第2号)の内容を確認し、自社の取組を自己チェックしてください。

#### STEP1 (企業) ⇒ (県) 認証の対象となるか自己確認

※自己チェックの結果、得点が認証基準の50%以上となる場合は、チェックした審査票と就業規則や育児・介護休業規定等の制度がわかる書類を県に提出してください。

#### STEP2 (県) ⇒ (企業) 書類確認の内容を基に、企業に訪問し審査票を確認

※企業に訪問し、審査票の全項目について確認します。

- 「長崎県誰もが働きやすい職場づくり実践企業」認証申請書類等を提出

#### STEP3 (企業) ⇒ (県) 申請書(様式第1号)に審査票(様式第2号)関係資料を添えて提出 (県) 申請内容を審査

※審査票の項目以外に、「就業規則等の社内規則を規定し社内に周知していること」や「過去に労働関係法令に違反する重大な事実がないか」等の要件も満たす必要があります。

- 「長崎県誰もが働きやすい職場づくり実践企業」として認証

#### STEP4 (県) ⇒ (企業) 認証書の交付、HP等での周知

Nぴか

検索

<https://n-pika.pref.nagasaki.jp/>



#### <お問い合わせ先>

〒850-8570 長崎市尾上町3番1号 長崎県 産業労働部 雇用労働政策課 労政福祉班  
電話:095-895-2714 (ダイヤルイン) FAX:095-895-2582 E-mail:s05460@pref.nagasaki.lg.jp